

# あくろいし 市議会だより



vol. 33

令和3年6月1日発行



今年度末に閉校となる青森県立黒石商業高等学校の47年にわたる歴史を記念して、同校の生徒の皆さんが黒石をテーマに描いた作品をご提供いただきました。他作品についてもシリーズとして今後掲載していく予定です。

## 表紙の写真を募集しています

- 応募資格…市内に在住、勤務、在学している人
- 応募作品…市内で撮影された風景、祭り、行事などのデジタル写真データ
- 応募方法…タイトル、撮影場所、撮影日、住所、氏名、電話番号を明記の上、議会事務局までメールまたは持参してください。
- メールアドレス…kuro-gikai@city.kuroishi.aomori.jp
- 注意事項…肖像権、著作権を侵害しないよう撮影者自身で被写体の承諾等を得てください。詳細はホームページまたは議会事務局へお問い合わせください。

## 目次

第1回定例会議案審議 など 2～4

一般質問 4～7

第1回臨時会議案審議 7

議会のインターネット  
中継を配信しています など 8

# 第1回定例会議案審議

議決された議案等の中から  
主なものを紹介します。

○令和3年第1回定例会

会期17日間

3月2日～3月18日

市長提出議案等及び議員提出議案全67件の中から主なものを  
お知らせします。

なお、各議員の賛否状況については、4頁に記載しています。

また、議案等の一覧は、黒石市議会ホームページで御覧になります。

## 令和3年度当初予算の

概要をお知らせします



黒石市一般会計予算額

156億6300万円

起立採決の結果、原案のとおり可決  
されました。

○持続可能なコミュニティカ「黒石力」を最大限生かした地域包括ケアシステムのさらなる充実、子どもを安心して生み育てられるまちづくりに取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症により厳しい環境にある市民生活を守るために、経済政策を継続して実施します。

○「自立したまち」を実現するため、地域と行政がお互いに情報共有しながら「あずましの里づくり事業」を実施します。また、黒石産ムツニシキのさらなる知名度向上や黒石らしさを生かした食育を推進するための「ムツニシ

キ」キズナキッチン事業に取り組みます。



○「元気なまち」を実現するため、中心市街地活性化基本計画の主要な事業としている市立図書館の建設工事着手するほか、旧大黒デパートの解体工事も継続して実施します。

○「安心なまち」を実現するため、子どもの医療費無料化の対象を県内のレベルと同等となる中学生まで広げます。また、子育て支援のためにスマートフォンアプリを活用した「子育て支援アプリを活用した情報配信事業」、市立図書館を魅力あるものにするための「黒石市立図書館運営計画策定事業」に新たに組み込んでいきます。

令和3年度新規黒石市重点  
事業の概要をお知らせします



○「コミュニティビジネスとしての水道メーター検針」

これまで市が行っていた水道の検針、漏水確認業務を受託可能な地区協議会へ委託します。受注した地区協議会では、支払われる委託料を地区活動の予算の一部に充てることで、自主自立の地域づくりに繋がります。

令和4年4月1日から開始予定です。

○「農産物等の新たな販路確保事業」

農産物の輸出に取り組み、または取り組もうとする農業者、新しい生活様式に即した非接触型販売方法等の導入や、農産物等の新たな販路確保に向けた取組をする農業者に対し、国外への輸出の取組について講習会を開催するほか、個別に支援も行います。

○「家庭教育事業 ～子どもたちの「未来（あした）」をはぐくむ～」

子どもの日常における生活習慣の習得や自立心の育成など、教育の原点である家庭教育が自覚と責任によって行われるよう様々な学習機会の提供を行います。また、講座等の学習会を通して、子育てや家族のあり方、役割を認識させ、地域全体で家庭教育の支援体制づくりを進めます。

○「マイナンバーカード取得促進事業」

マイナンバーカードの普及を進めるため、各公民館、大型スーパーやイベント会場などへ市職員が出張し、顔写真の撮影や必要書類への記入サポートを行います。



固定資産評価審査委員会  
委員の選任について



地方税法の規定による、固定資産評価審査委員会委員の選任について同意しました。

住 所 温湯字上川原15番地25

氏 名 佐藤 徳幸

生年月日 昭和26年4月28日

人権擁護委員の推薦につき  
意見を求めることについて



人権擁護委員法の規定による、人権擁護委員の推薦について同意しました。

住 所 油横丁14番地

氏 名 野木 俊子

生年月日 昭和33年4月12日

議案に対する各議員の賛否状況

○は賛成、●は反対、※は議長のため採決に加わっていません。  
賛否が分かれた議案のみを掲載しています。

議案等名	採決結果	工藤和子	黒石ナナ子	三上廣大	大平陽子	工藤禎子	大久保朝泰	大溝雅昭	佐々木隆	今大介	工藤和行	工藤俊広	北山一衛	中田博文	後藤秀憲	村上啓二	村上隆昭
令和3年度黒石市一般会計予算	原案可決	※	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度黒石市国民健康保険特別会計予算	原案可決	※	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和3年度黒石市介護保険特別会計予算	原案可決	※	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般質問

8人が市政を問う

第1回定例会において行われた一般質問の中から、1議員につき2項目程度の質問及び答弁の要旨を質問議員が自ら作成し、掲載しています。内容等でご不明な点は、議員に直接お尋ねください。

また、黒石市議会ホームページでは、会議録の公開を行っております。一般質問の内容はPDFファイルで御覧になれます。

携帯電話やスマートフォンで下記QRコードを読み取っていただくと簡単に掲載サイトに接続できます。



三上 廣大 議員  
黒石市民倶楽部

一問一答方式

新型コロナウイルスワクチンの接種体制整備状況についてどうなっているのか

当市では市内医療機関での個別接種と黒石公民館多目的ホールを会場とする集団接種の2種類とし、全て事前予約をした上で接種できるよう医師、看護師の確保並びに調整を進めています。

接種の対象者は接種日に市内に住民票を置く16歳以上の市民とし、一部特例はありますが、医療従事者、65歳以上の高齢者、65歳未満の基礎疾患を有する者、高齢者施設の従業者、60歳から64歳の者、一般市民の順番で接種することになっています。

ワクチン接種の開始時期については国のワクチン配分状況を見ながら体制整備に努めていきます。





黒石ナナ子 議員  
新自民・公明クラブ

一括方式

問 当市在住の防災士について

答 令和2年4月に行った市内自主防災組織を対象とした調査によると、防災士資格取得者は15人です。地区の防災リーダーとして防災意識の啓発や防災知識の普及が期待されています。自主防災組織育成補助金を活用し、防災士資格取得促進を目標としています。



問 避難所における女性に対する配慮について

答 女性専用の受付の設置は検討していませんが、避難所運営に係る相談窓口は、避難所開設後の設置を検討しています。女性ボランティアの配置は各地区の自主防災組織の協力を得て対応していきます。



大溝 雅昭 議員  
新自民・公明クラブ

一問一答方式

問 新型コロナウイルスへのこれまでの経済対策と今後の対策は

答 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者915件へ事業継続緊急支援助交付金の交付、市内飲食店等で使えるグルメ券の全世帯交付など、地域の消費喚起を図りました。今後は、プレミアム付き商品券発行支援事業や、くろいし飲食券発行事業を行う予定です。

問 地域学校協働活動推進事業について

答 令和4年4月からの黒石市地域学校協働活動の開始を目指し、各小学校区における推進本部等の設置に携わる地域学校協働活動推進員の配置などを進めていきます。

その他の質問

- ・コミュニティビジネスとしての水道メーター検針について
- ・市立図書館運営計画策定事業について



大平 陽子 議員  
黒石自民クラブ

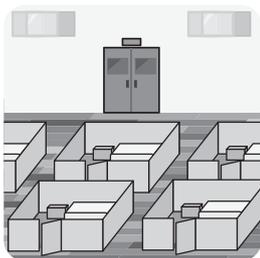
一問一答方式

問 子ども医療費給付事業について

答 新年度から、中学校3年生までの子ども全てについて、入院・通院に係る保険診療自己負担分を無料にします。給付方法は原則として現物給付となりますが、整骨院等は償還払いで対応します。

問 防災備蓄品について

答 避難所生活に必要な段ボールベッドや蓄電池、簡易トイレなどを購入しました。防災備蓄品の備蓄倉庫は建てずに、空き校舎等を活用していく方針です。



その他の質問

- ・市職員の労働環境について



工藤 俊広 議員  
新自民・公明クラブ

一問一答方式

問 新型コロナウイルスワクチン接種について

答 市内の対象者は65歳以上の高齢者が1万1490人、16歳以上65歳未満が1万7883人で、市内の医療機関での個別接種と黒石公民館多目的ホールでの集団接種を予定しています。ワクチン接種には、4月に郵送される接種券等とコールセンターへの事前予約が必要で、今後は65歳未満の方に向けてウェブ予約も検討します。

問 祭りの開催について

答 開催可否はそれぞれの主催団体が判断しますが、各団体で目安となる開催・中止基準を設けることも必要と考えます。今後、主催団体とも情報共有を図っていきます。



村上 啓二 議員  
黒石自民クラブ

一括方式

問 令和3年産米の生産数量と目標達成のための取組は

答 令和3年産生産数量目標は、令和2年産より373トン少ない7991トンで、作付面積に換算すると1348ヘクタールとなり、ヘクタールの大幅な減少となりました。生産者が飼料用米、加工用米、輸出用米等に積極的に取り組めるよう取扱業者とのマッチング、企業説明会の参加を促しています。

問 大型事業に起債を充てているため公債費が増加すると思われるが、経常収支比率は大丈夫か

答 大型事業を実施する場合は、過去の高額な起債償還が終了する時期に合わせて償還を開始し、経常収支比率が上がらないよう計画的に行います。



中田 博文 議員  
新自民・公明クラブ

一問一答方式

問 財政の動向について

答 市の起債残高は令和元年度末で218億円、実質公債費比率は当面16%台で推移する見込みです。財政調整基金は図書館や市民サービス施設建設事業などの実施により、今後5か年の試算では7億5千万円程度取り崩す見込みです。

問 有機農法の推進について

答 有機農法への転換に取り組む厚目内地区の農業者を支援しました。有機農法によるニンジン等は高評価を得ていますので、今後も農業者と行政等で協議会を設立し、栽培技術の確立、販路拡大などの経営支援をします。

問 児童館に通う子ども達のスクールバス利用について

答 今後、教育委員会と協議していきます。



工藤 禎子 議員

日本共産党

一問一答方式

問

特別障害者手当について、要介護4、5の認定を受けた方への周知はされているのか

答

要介護4、5の方でも支給対象となる可能性があることから、今後は認定結果通知書送付の際にチラシを同封するほか、居宅介護支援事業者への周知に努めます。

問

市立図書館について①司書は館長含め最低3人は必要ではないか②職員は専門知識が必要なので2、3年での人事異動はすべきではない

答

①開館時間のシフトや事業量も検討し、見合った司書の人数を配置します。②職員の人事異動は図書館のノウハウを継承できるように配慮していきます。

## 第1回臨時会議案審議

議決された議案等の中から

主なものを紹介します。

○令和3年第1回臨時会

会期1日間 4月28日

本臨時会においては、市長提案による12件の議案等が提出され、慎重な審議の上、いずれも原案のとおり可決・報告・承認されました。以下に審議された議案について主なものをお知らせします。

また、議案等の一覧は、黒石市議会のホームページで御覧になれます。

### 市立図書館新築工事の請負契約締結について

市立図書館新築工事の請負契約について、次のとおり締結することを可決しました。

場 所 黒石市大字内町地内  
契約金額 5億369万円  
契約業者 弘南建設株式会社

### 令和3年度一般会計補正予算について

新型コロナウイルスワクチン接種の体制確保や市民サービス施設整備事業などに対応するため、令和3年度の一般会計補正予算について可決しました。



## 新議長に佐々木隆議員が就任しました

第1回臨時会において、工藤和子議長の議長辞職に伴い、議長の選挙が投票により行われました。その結果、佐々木隆議員が当選し、第21代黒石市議会議長に就任しました。



### 議長就任挨拶

この度第21代黒石市議会議長に就任いたしました、佐々木隆です。

議員各位が望む黒石市への思いや考えを、市長をはじめとする執行部としっかりと議論ができるように、公平な立場で、円滑な議会運営と議会のさらなる活性化に努めていく所存です。

また、市長が黒石市のトップに立って黒石市のセールスを行っているように、私も議長として、黒石市のPRにも努めていきたいと思っております。

## 議会のインターネット中継を配信しています

黒石市議会では、令和2年第4回定例会から本会議のライブ中継をインターネット動画配信サービス（YouTube）で行っています。

また、今までに行われたライブ中継についても、編集作業が終わり次第配信をしていますので後から視聴することも可能です。なお、配信期間は1年間となっています。

詳細については、黒石市議会ホームページに掲載していますのでぜひ御覧ください。



## 編集後記

コロナ禍となってから、市民の皆さんと接する機会が随分と減りました。議会だよりは、議員の活動をお知らせすることのできる手段の一つです。委員会では、どんな紙面づくりをしたら、市民の皆さんに手に取ってもらえるかを毎回模索してきましたが、今号より、今年度末に閉校となる県立黒石商業高校のご協力を得て、生徒さんの作品が表紙を飾ってくれることになりました。どんな表紙になるのかも楽しみにご期待ください！

(大平 陽子 委員)

## 議会だより 編集特別委員会

委員長	今 大介
副委員長	三上 廣大
委員	大平 陽子
〃	黒石 ナナ子
〃	大溝 雅昭
〃	工藤 禎子